

京城時報

日三月一年五正大 (號九百九千二第)

大正四年の貿易

貿易額

大正四年の貿易額は、前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。これは前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。これは前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。

貿易額別

貿易額別は、輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。これは前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。

貿易額別

貿易額別は、輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。これは前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。

樂書

小宮李王職次官試筆

大正四年の貿易額は、前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。これは前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。

大正四年の貿易額は、前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。これは前年比で輸出は四億五千五百七十八萬六千餘圓、輸入は四億五千五百七十八萬六千餘圓、合計は九億一億一千一億五千五百七十八萬六千餘圓に達した。

眞理を説ける教育者の聲

大隈伯曰く「我々の教育は、大隈伯に於ては、教育者の聲を聞くべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。」

名譽銀牌受領

棚橋子史氏曰く「我々の教育は、大隈伯に於ては、教育者の聲を聞くべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。」

眞理を説ける教育者の聲

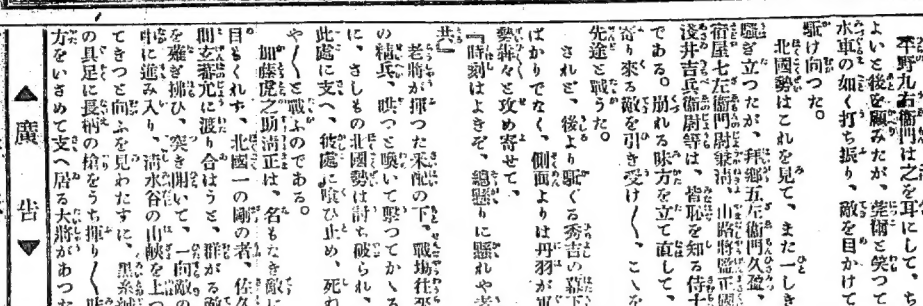
大隈伯曰く「我々の教育は、大隈伯に於ては、教育者の聲を聞くべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。教育者は、眞理を説けるべきである。」

本
部

つた如く、顔いて進む大軍は、岸を
破つた深淵の、激浪高く寄すかと
想はせた。

遇り雄の若武者は、手に、
を携へたが、其中平野九右衛門と、
石川兵助ばかりは、長刀を携へたの
を見て、平野衛平長を

「今日の聊ひには、槍を以て第一と
するであらう。不利な長刀、持つま
さるべき」と、言ふを聞いた。



第加手金に手け補の。にて
 赤門印
 人參規那鉄蘭葡萄酒
 貧血、衰弱、疲勞、婦人病
 等に最適の飲料
 發賣元 小阪商店兼山倉庫
 酒の處有力なる清酒金製品店にあり
 賀新年

THE
THE
THE

謹賀新年
野田卯太郎
宮内省御買上品
日之出
ソーヌ
元祖神皇正統
滿鮮米雜穀商

賀新
 稻岡熊太郎
 大連市紀伊町六十二號
 電話(電話)九二四番
 振替(電話)四九
 電信(電話)四九
 (北)

時價表申込次第送呈
 此中満益集
 又喜利チノミ

祝明書
 中江大助郎様へ
 大連市紀伊町六十二號

日本製髮器具

振替口座 東京四三三四番
大塚四二四番
同 東京支店
振替口座 東京二七五三一番



大阪府堺市
肥塚源次郎
謹賀新年
京都本町三丁目
特約販賣店 佐藤牧太郎
同 本町三丁目
特約販賣店 明治屋支店

正 賀

海陸物產 問屋 三宮村太助商店

煎子鰻ノ粕 製造業

大坂市西區立賢堀

日本一藥館喜香堂ヲチニ

本舖主 塚田日耶

京坂本町四丁目 平讓櫻町

京城支局長 小柳嘉市

平壤支局長 清水庭造

蔚山郡方魚津

電略(ミヤ)又(ミ)



謹賀新年

花緒問屋

大崎市東區南本町御堂筋

越

太田宇兵衛商店

電話圖東一三九二番
振替大阪五六四番

釀造大
特約吉

業を固みて家内睦じければ
徳を得て聲城の如し
（補公家訓）

大元 京都大門口 兄弟商會
本店 市本
大府 市

總督府直轄及國庫補助土木事業の回顧

の總距離に對し既に改修を了へたるもの五百十里餘、目下工事中に屬するもの百六十里餘に及べる狀況なるを以て全線は豫定の如く大正六年度を以て竣工を告ぐ可きことを俟す

▲港灣の修築 所謂海關工事



仁川、元山の二港に就き左に其進工
 狀、兄を假託す可し
 ▲釜山港、第二棧橋は内棧橋、格闘
 床橋等殆んど竣工し目下板敷工事中

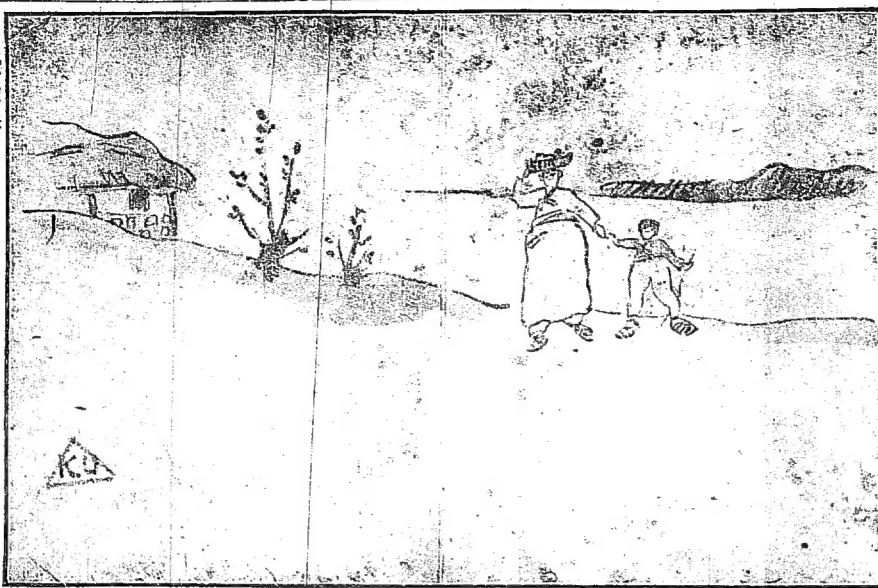
にして約三分三厘の出来形を見たり
而して埋築は全部竣成を告げ石垣は
延長三百三十間の内二百七十七間、
防護堤は六百二十六間の内五百九十
間を竣成し、總工費約八割に達せり
▲仁川港は岸壁上部並石を除くの外
總て竣工し、假物揚石垣は三百七

十間の内八分通りを竣へ、閘門は基礎工を終了して、目下閘門壁體築造中に屬す、埋塞總土量廿一萬四千四百坪に、壙總土量十五萬二千五百五十坪の内、埋塞及び掘塞土量十三萬四千五百二十六坪、淺濬土量十四萬坪の内、二十萬七千二百坪を竣了し、總工程約六分

▲市街經營 市街經營事業は、鐵道二十里八町餘、二等道路七十五里、土三町、二等道路五町餘、合計九十五里、二町餘を改修し、尙ほ河川を改修せるもの一箇所あり、總工費六十六萬餘圓、其

に達せり
▲元山水道 豫定計畫は舊赤田川所附
近より海岸通突堤に至る間距離約二
萬七千餘坪を埋立て、其前面に築船
岸壁五百十間及び物揚場延長二百七
十間を築造し、更に港内の船穩を保
たむが爲め二百二十五間の防波堤を
分幅に造す
三千四百七十間、道路砂利敷面積二
萬二千二坪及び下水溝延長約二千七
百八十間を築造す、征矢川並に鈴川
には延長七、五百五十間の護岸工を施じ
橋梁四箇所を架設するの計畫に並
し目下何れも施工中に在り、全工程六
分幅に造す
カバセ堤に對する國庫補助額卅萬圓
にして目下約六分の出来形を示せり
▲水道補助工事 水道補助工
事は元城大町、本町の各水道に並
し新奈州館清水道の諸工事矣とす
▲元山水道 總工費十三萬圓に對
し其半額を國庫より補助し大正二年

築き、其地面積約八萬二百餘坪の淺濠と埋築地上に鐵道引込み並に道路二萬九千七百八十圓の經費を計上しなり、目下の所程は一部の掘工事を除く外主要工事は孰れも概ね竣工を了せり。



告げたるを以て四年以内に於て愈々豫定の如く給水開始の運びを得可し因に本水道は二萬の人口に對する給水力を有す

▲大邱水道 總工費四十一萬五千圓 國庫より其半額を補助し大正三年六月起工 大正六年度内に完成の豫定にして之の出來形二分額を示せり 而して目下が完成の上は三萬の人口に對して給水し得る計畫なり

▲本浦水道 在來設備の擴張にして總工費二十三萬五千圓 國庫より其半額を補助し大正三年一月起工 大正四年度に於て全部完成の豫定なり

同工事中貯水池、濾過池等は既に竣工し且下配水池及び水管工事に着手ししむりて約七分の出來形を見たり 因に本水道は此設備に依りて一萬二千の人口に給水し得可し

▲釜山簡易水道 總工費三萬圓の中

國庫より二萬圓を補助し工事は目下若手の中にして大正四年度に竣功の豫定なり、因に本年度は單に炊事及び飲料等家用水を供給する、但馬水道にして完成後に於ては五千の人口に給水し得るの計畫なりとす

此他平陸水排水及び道路補助工事は大同江畔に於ける平壤市街の水害を防衛第一期工事にして總工費二十六萬四千圓に對し其半額の國庫補助を受け、大正二年度以降四箇年間の總事業とし、且下の工程九分の出来方を示せり、又清津魚港排水工事は總工費六萬三千圓、内國庫より五萬

國の補助を仰ぎ大正四年八月起工、同五年度竣工の豫定なり。這是清津港東海岸に於て漁船の破綻を安全ならしむる爲め混凝土防護堤を築造するものにして北防護堤延長六十二間、南防護堤延長六十二間、合計百二十四間の防護堤を築き中央港口の船員を二十五間とす、此工事は現下基隆港に石工事の一部を著手、中に於て未だ歩道りを計上するに至らず

○丙辰新年 古城 梅溪
情同父子義君恩。千孝千忠皆俗情。何

幸吾生逢聖代。謳歌僻陋太平年。
松田國瑞曰 平生有法法不必奇
○丙辰新年 圓山 牧雲
情同父子義君臣。東海精華獨絕倫。野
老謳歌玉山雪。松花綠處祝年新。
情同父子義君臣。忠孝俱全益日新。開
展三千年國是。曼珠迎得見春香。
松田國瑞曰 詞意盡發 瑞氣勃然
○丙辰新年 高升 樟堂
同風萬里服年華。喜見南山罩翠巒。只
恨閒庭春尚早。檐梅枝上未開花。
元朝風物總纏綿。笑語歡聲到處聞。曉
室迎來先敬老。樽堂醉滿慶紅
松田國瑞曰 樽堂 醉滿慶紅
而詞頗老健 壓倒壯者 真可賀也
○丙辰新年 西田 白雲

情同父子。我君臣。威震乾坤。德率
金。殿龍飛開瑞運。衆民遙拜戴深仁。

京城本町四丁目
賀正川口酒油店
電話二五四八番

賀正
大正
京城支會社
京城支部
電報 九三番

京成本町二丁目

京城南山町二丁目
賀正秋吉富太郎
電話二四七番

京城本町二丁目
賀正 高木商店
電話 一三四番

京城永樂町二丁目
賀正石川表具店

正賀
京城鐘路一 電話九八七番
千代田號
京城本町一 電話三三八番

千代田號支店
賀正佐野藥商商店
京成本町一丁目

電話 一六三番

京坂本町二丁目

賀正清光館

謹賀新年

仁川本町四丁目
光田造船部

電話二五六番

仁川區四丁目
光田鐵工部

電話三〇五番

謹賀新年
後藤連平法律事務所
謹賀新年
會席御料理

仁川仲町三丁目
柳家
電話 一二九番
謹賀新年
仁川本町

謹賀新年

米穀商 平山松太郎商店

電話一五三番

日鮮人向雜貨

謹賀新年

井上藤吉商店

電話八六番振替京城一〇〇番

仁川本町

謹賀

京城南大門通四丁目

(青物市場前)

高橋精肉店

電話五二四番

新 年
奥様がたや令嬢女中様たちは
南米倉町青物市場にいらしゃった
高橋精肉店を御忘れないように
謹 賀 新 年

謹賀新年

謹賀新年

京城本町二丁目
藤釘本藤次郎本店
電話長 四五番
二七四番
振替京城二五六番

謹賀

京城南米倉町
電話一四〇六番

京城南米倉町
電話二三四番

今村精米所

龍山精米所

(イロハ順)

新 年

京城古市町
電話二一八番

京城蓬萊町
電話三三八番

京城蓬萊町
電話三四三番

待井精米所

京城精米所

天日精米所

謹賀新年

大版部
大版每日新開
大版每日新開
大版每日新開
大版每日新開
大版每日新開

諸鮮總督府官報
京城大漢門前
盛文堂
電話四二六番

謹賀新年

京城本町二丁目

京 城 券 番 一 同

電話 一八一八番
三三三番

概說

度の情性に依り經濟界は一般に不振を免れざりしも、後半に入りては之を一掃して、共進會及び御大典に引き財界は旺盛なる活動を開始し、一般經濟狀態頗る向上して納税は勿論鐵道、通信及び關稅收入の如き何れも調定額以上の收入を見、貿易の如き稀有の順調を呈しつゝあり、又最近發表せられたる大正五年度豫算綱要に於て見るも補充金の減額は勿論其他の施設總て財政獨立の根本計畫に則りて編成せられたるを表示し餘りあり、今明治四十四年度以降大正四年度に至りて一般會計より總督府特別會計の受けたる補充金額を散て難事にあらざるを信ぜずば、乃至は財政獨立の根本計畫は彼穀價の暴落、歐亞戰亂の如き異常な有事實に遭遇せししも尚且つ上國の如く何等の支障なくして若々其の武を進め豫定の實績を收めて其基礎固く確實さを證明せり故に今常態を以て推移せば大正八年度に於て財政の獨立を見ること極容易明かなる所なりとす、若し今後再三年度の如き世界的稀有の變事發生す可しと假定するも財政計畫に何等の影響なきは大正三年度及び本年の實績之れを證明して餘りあり、或や斯の如き事實は到底再來を豫想し

手要で済む土産の用きと

の消性に依り經濟界は一般に不振
免れざりし、後半に入りては之
一掃して、其進會及び御大典に引
財界は旺盛なる活動を開始し、
經濟狀態頗る向上して納税は勿
道、逋債及び關稅收入の如き何
關定額以上の收入を見、貿易の如
稀有の順調を呈しつゝあり、又最
近發表せられたる大正五年度豫算綱
要に於て見るも補充金の減額は勿
論、其の他の施設總て財政獨立の根本計
画に即して編成せられたるを表示し
に餘りあり、今明治四十四年度以降
大正四年度に至りて一般會計より總
府特別會計の受けたる補充金額を

敗て難事にあらざるを信ぜずなば
ら、蓋し財政獨立の根本計畫は彼
觀價の暴落、歐亞戰亂の如き異常
有事實に遭遇せしも尚且つ上國
如何等の支障なくして若々其の
武を進め豫定の實績を收めて其
鞏固と確實とを證明せり、故に今
常態を以て推移せば大正八年度に
財政の獨立を見ること殆乎としし
明かなる所なりとす、若し今後再
三年度の如き世界的稀有の變事若
す可しと假定するも財政計畫に何
の影響なきは、大正三年度及び本年
の實績之れを證明して餘りあり、
や斯の如き事實は到底再來を豫想

遞信收入の多寡は

便、電信等の如く實社會の伸小爲として存在する通信機關の繁栄は夜に活動して熄まぬ所謂活社會計數と云ふことが出来ると思ふ。つて遞信收入の多寡は一般經濟界の反影とも云ひ得るであらう。吾週に於て作製する多年の統計表に於ける愛數年間には打續く不景氣のため、其收入を減じ例年ならむる内外の増收を年々の統計上に五割を例として居たのであるが、殆んど數字上に計上し得ざる位増加をなしたに過ぎなかつたのである。

好景氣と朝鮮

を一年の六百萬圓に比較すれば、増加を以て進んで来たのであるが、年には於ては七百三十萬圓に達し、昨年の六百萬圓に比較すれば、

如斯く大正四年は終つた。あるが同年内の遞信收入に於ける百三十五萬圓の收入を得前年より如何の増加を來し更に郵便金は毎百萬圓内外に多少異なつた傾向を有して居る。郵便貯金は毎年百萬圓内外に於ては七、八十萬圓に達し、増加を以て進んで来たのであるが、昨年の六百萬圓に比較すれば、

益を得た様々次第である。

遞信收入と貯金

如斯く大正四年は終つた。あるが同年内の遞信收入に於ける百三十五萬圓の收入を得前年より如何の増加を來し更に郵便金は毎百萬圓内外に多少異なつた傾向を有して居る。郵便貯金は毎年百萬圓内外に於ては七、八十萬圓に達し、増加を以て進んで来たのであるが、昨年の六百萬圓に比較すれば、

正三年末端境期より米價の大暴落

なり左しも沈黙した財界も一妻の
光を發見する様になつて来た、就
朝鮮には始政五年其進會を開會
ることもなつたため更に一段の活
を添へて下半期には内地の好景氣
呼應して近年稀な大活躍を現出す
際になつた殊に内地に於ては戰亂
影響を蒙つて海運界は前古未有の
敗壞を來したのが朝鮮に於ても活
躍路の狀況は直接戰亂の影響を
受けるにもせよ間接には活動期に
なるにもせよ間接には活動期に
なるにもせよ間接には活動期に

不景氣々々々の一天假りであつた
めに倅給生活をして居る者等は略
は一定して居るが支出を節して吃
をしたと云ふ所から其大部が來
るのでなからうか斯て本年も此
を持てゐるに益々經濟界は活況を
呈であらう

新 年 中野 和山

なみく／＼酌む盞や今朝の春
初空に今年の雲の暈の影
初空や歸くる様なき鳥の影

謹賀新年

奧田商店羅紗部

大連出張所

本店 朝鮮仁川 電話一三三八番
出張所 朝鮮京城 電話一三三八番
振替大連一三三番

謹賀新年

營業 荒銅電氣銅及加工品類
品目 電線類金銀丹礬及雜金物
水道鉛管 鑛石 石炭

古河合名大連出張所

大連市山縣通り一〇三號地
電話一〇四三番
主任 淺野 貞一

謹賀新年

大連市紀伊町

淺野セメント株式會社 大連出張所
淺野スレート株式會社 大連出張所

電話長三二三番

謹賀新年

三輪商會 戸田春藏

京城南大門通り三丁目
電話三三八六番
電話三三七五番
電話三三六五番
電話三三六五番

謹賀新年

京城黃金町二丁目

太平生命保險株式會社

京城支部

電話一四〇二番

謹賀新年

金牌受領

京城太平通二丁目
日本石油株式會社
京城出張所

電話二四五番
振替京城五三三番

謹賀新年

京城南大門通三丁目
有限名古屋莫大小株式會社
責任名古屋打及物販賣組合

兩店朝鮮總代理店
加賀榮次郎

本店 名古屋市島田町

謹賀新年

京城明治町

京城競賣株式會社

電話一四〇七番

謹賀新年

京城本町二丁目

御料理 清 香 園

電話三六番

謹賀新年

京城南山町二丁目

高 島 屋

飯田合資會社
出張所

電話一五九六番

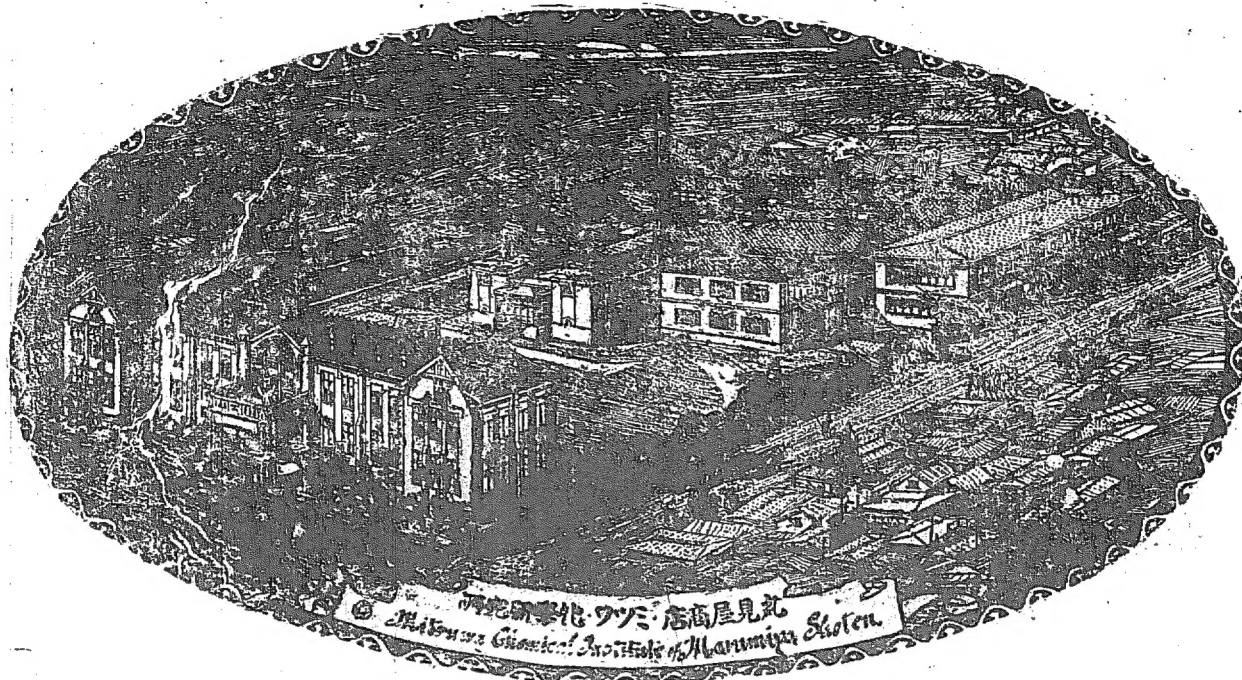
謹賀新年

京城本町一丁目

塚谷出張店

電話一三六番

謹賀新禧



MITSUWA SOAP

Mitsuwa Soap is the finest skin beautifying agent that science has produced or that money can buy.

It is of the finest quality and possesses a delicate, and refreshing smell.

It is free from all traces of impurities—it is so pure that it will not injure the tenderest skins.

It is composed solely of properties which soften, refine and impart natural beauty to the skin.

It does not masquerade under strong perfume and gauzy wrapper.

It is purest, sweetest and most economical for toilet, bath and nursery.

Le Savon "MITSUWA"

Le savon "Mitsuwa" à la portée de toutes les bourses est propre à entretenir la beauté de la peau sans danger aucun.

Ce savon possède jusqu'à la dernière miette, un parfum inaltérable.

Ce savon ne contient aucune substance pouvant nuire à la peau.

Ce savon soumis à l'examen scientifique le plus consciencieux a été reconnu excellent pour adoucir la peau et lui en conserver la beauté.

Ce n'est pas un objet sans valeur sous des dehors brillants, comme souvent on en voit dans les marchés.

En Résumé le "Mitsuwa" est un savon économique, pharmaceutique, d'un sérieux éprouvé et universellement reconnu comme tel.

本舗

ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭薬
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元



商標

丸見屋商店

東京市日本橋區橋本四丁目
藥劑、發賣品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電話號碼〇ミヤ……振替口座東京七一〇
營業部電話國通花三〇・四四八・四四九・四五〇

純正の石鹼は亞爾簡保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも残留せず、更に「フェノール」フタレインを以て、仔細に遊離の亞爾簡保兒を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

皮膚の分泌量多くして而かも粗糲なる本邦人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髪、の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、香に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

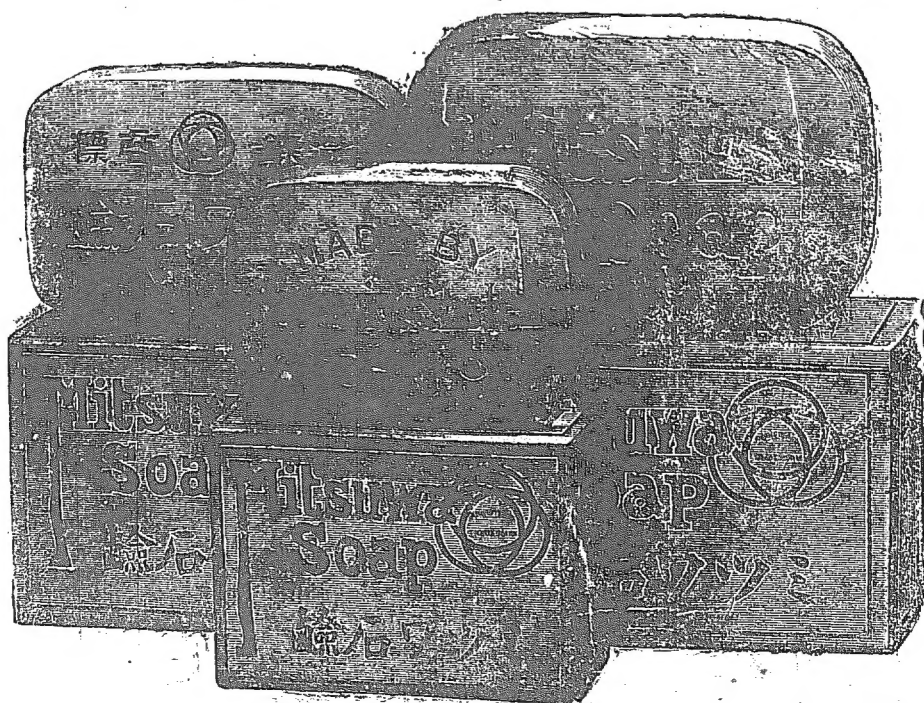
一、化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性質を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、荷も刺戟を感じすべき虞あるものをを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する理想的實用石鹼なり。

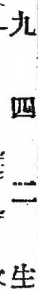


擔任技師

工學士 藤野太治 郎
工學士 越智主一 郎

ミツワ石鹼

第四



ました。兄は父のなくなつた時、家も、田地も、山も、お金も、遺産はみんな自分でとつて仕舞ひました、そして母や、妹や、弟等は人の善い弟に押し付けて、氣の合つた妻君と二人で、弟の野郎は馬鹿だから……と笑つてゐました。弟はそれで少しも怒つた様子もなく、昼間は山に松葉齎に行き、夜は縄を編つて、細い縄を立てながらも母には孝行をし姉や弟妹に親切に、食べるものも自分が一番役にするといふ風にして生活してゐました。




朝鮮輸入俚語集(二)
裸に銀装刀。

此も有様を見た、徳澤兄は、まな
ひ、自分の家の庭に挿しました。す
るごれ亦立派に根が付いて、見え
く天空にとびく大木と成りましむ
ので、兄弟姉妹は大喜びで毎日々々水やりを怠らぬ。

けなかのやうに、その木を傳ふて、
毎日毎夜、金、銀のお寶が降つてま
ゐります。雨の様に降る金銀はまた
なくまに庭一面に溢れる程になりま
したので、第一家の悦びは堪へるも
のもありません。早速大きな庫を建
てますと、その庫の中に一杯になり
ます。新しい家の中も、納屋の中も
泉のやうに湧き出る金銀で溢ち溢れ
て、とうとう國內第一の大長者とな
りました。

朝鮮繪入俚諺集(二)



「……」と口眞似をするので、そして一つ「櫓」の實を拾ひとるど、すぐ後から一つの「櫓」の實が落ちて來ました。こんどは『これは姉上に……』と云つて拾ひますと、又も『これは姉上に……』とその龜が眞似をします、そして又「櫓」の實が一つ落ちて來ました。『これはわが弟に……』と云つてそれを拾ひますと、矢張り『これはわが弟に……』とその龜が云ひます、そして又ボトリと「櫓」の實が落ちて來りました、このやうにして『これはわが妹に……』これはわが妻に、『これはわが兄に』を拾て行つてお仕舞ひに『これはわなしのために』と七ツの「櫓」の實を拾ひました、その度毎に、彼の龜は弟の云つた通りを繰り近して眞似をしました、弟は餘り珍しい龜なので家の人や村の人にも見

「つづきの見料を置いて歸ります、そ
で弟の家は今までは打つて獲つ
生活も樂になつてゐりました。」
と弟の家に於いて一體どうしたこ
とだらうかといふ金儲けをして
馬鹿に似たのはいふ金儲けをして
といふではないか、一つおれにも
へて貰ひたいものだ」と説ねまし
人の善い弟は、正直にものいふ金
こを話しますと兄は「それでは
三日おれに貸してくれないか」と
ひますので、弟は心よくものい
を兄に貸してやりました、兄は一
大金儲けをして來やうと龜を抱に
大に行き「えい、ものいふ龜、もの
龜を御遊ばせ」と呼んで歩き
た、物見賣い町の人々は「そり

て れ しまし
う ま は 効 た の 二 雲 絶 つ い や ま
る なる した の た の 二 雲 絶 つ い や ま

正 直な弟は、幾日過つても兄の
ものいふ龜を返して呉れませ
んので、心配で堪らなくなりまし
一日「若し御都合がよければお返
下さいませんか」と催促に行つて目
ますと、兄は『お前のお影でおれ
半殺しにされた』と大變な立腹で
言います。弟はそれでも別に兄を
みもせず、泣く／＼ものいふ龜の
骸を拾ひ集めて、自分の家の庭に
め、龜塚と名をつけました。探を造
朝かな水を手向けました。

すると、何時の間にか、その
塚の真中から一本の木が生
きました、不思議なこの木は日に日
成長し、見る／＼うちに雲を破つ
天にていく程の大木となりました
そして、まるで天國の金庫に突き

ところがこの大木は天國の共同便所
 に突き抜けたと見えまして、色こ
 同じ黄金色ながら、臭ひくお穢
 降つて來て、庭に溢れ、家に流れ
 み居るところも無くなつて仕舞ひ
 した。

弟 はこれを氣の毒に思つて、
 に新しい家を建て、そこに
 夫婦を住はせました、めでなし／＼

(朝鮮の物語より)

朝鮮繪入俚語集(三)
 西瓜を皮の上から舐める。



謹賀新年 旅館花屋 電話五四三番	謹賀新年 仁川本町 電話五四三番	謹賀新年 仁川宮町 井上林藏 電話三六七番	謹賀新年 仁川寺町 產婆芝 電話四一八番	謹賀新年 仁川宮町 土井鐵工所 電話三三八番	謹賀新年 仁川本町四丁目 書齋 莊野愛古堂	謹賀新年 仁川宮町 仁川旅館 電話四三五番	謹賀新年 仁川本町四丁目 雞貨商 南方商店 電話一六六番	謹賀新年 仁川仲町 代書業 增田定吉 電話六〇五番	謹賀新年 仁川京町通 漢貨商 河內秋之助 電話三四三番	謹賀新年 仁川仲町郵便局隣 高等旅館 原金 電話三二二番	謹賀新年 仁川本町大門通角 最新流行 磯永洋服店 電話二二五番	謹賀新年 仁川港新町三丁目 和洋御菓子園 鶴屋菓子舖 電話八四六番	謹賀新年 仁川仲町三丁目 仁川用達社 電話二三五番	謹賀新年 仁川新町三丁目 化妝品 岩見屋 電話五四〇番	謹賀新年 仁川宮町一九 有馬改 上田操 電話六四七番	謹賀新年 仁川本町三丁目 紙箱製造 達富商店 電話六〇一番	謹賀新年 仁川港色町 伊福長助商店 電話長一五一番
------------------------	------------------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--	---------------------------------------	---	--	---	---	------------------------------------	---	--	---	------------------------------------

<p>謹賀新年</p> <p>船員 鎮南浦三和町 金物商 田邊商店</p> <p>電話一五八一番 振替京城二五八一番</p>	<p>謹賀新年</p> <p>中華民國鎮南浦領事 胡襄</p>	<p>謹賀新年</p> <p>鎮南浦三和町 卸和洋雜貨商 小西仙吉商店</p> <p>電話一〇五番</p>	<p>謹賀新年</p> <p>鎮南浦水產會社</p> <p>鎮南浦三和町 電話二七番</p>	<p>謹賀新年</p> <p>不安農工銀行鎮南浦支店 東輝雄</p>	<p>謹賀新年</p> <p>於朝鮮製菓共進會銀牌受領 於始政九年物產共進會銀牌受領 祖元西鮮餡平尾商店</p> <p>電話二〇七番</p>	<p>賀正</p> <p>朝鮮鎮南浦 富田儀作</p>
--	-------------------------------------	---	--	--	--	---------------------------------

謹賀新年
尚ほ本年も不相變御引立を乞上候
御旅館 扶桑館
鎮南浦龍井町
電話一五九番

謹賀新年

鎮南浦三和町
土木建築 請負業 森本澤吉
電話三二三番

謹賀新年

鎮南浦明峽町
合資會社 南浦材木商會
電話一五七番
振替京城三三二番

謹賀新年

鎮南浦三和町
南浦組
組長 藤井愛助
副組長 岩田圓一
電話一三六番

謹賀新年

內國通運株式會社取引店
免許税關貨物取扱
伊丹運送店
電話
東京
五〇
番

謹賀新年

土木建築 請負業 津田組出張所
平壤府幸町
(長電二五番)

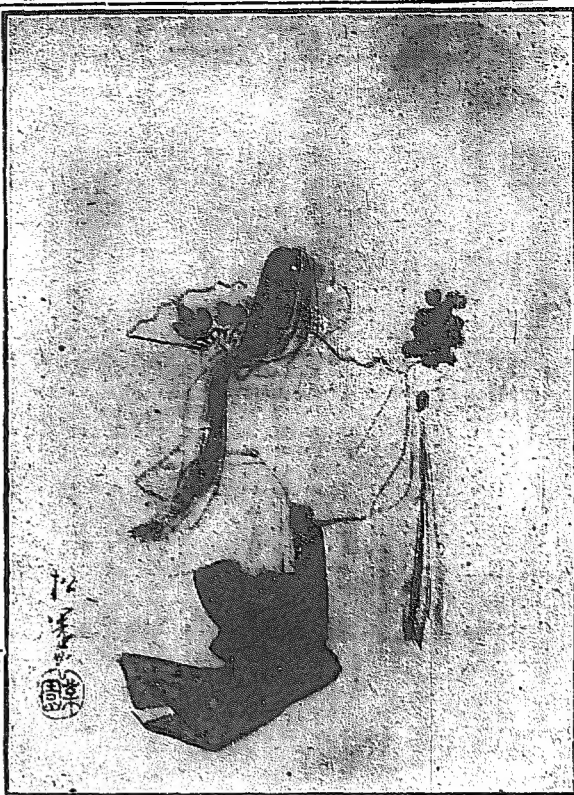
謹賀新年

平壤府幸町
土木建築 請負業 水谷岩松
蓮實喜八
(長電二五番)

謹賀新年

平壤府泉町
土木建築 請負業 松尾宗一

三遊亭小三述



長「……」何んにかう言います、手前も磯さんのや
は……」
乃公のことを大山
君なんぞも失禮千
萬な」
(下)
長「ア聞給へ大
山君、香まだ彼處
のことを云つて居る
長大山君が杉山
君を呼んで傳票を
長松に渡す、長松
は其の傳票を出納
掛りへ廻します、
客は金銀を出納掛
りの札のかゝつた受
取盤の前で金を支
拂つて傳票を受取
る、其傳票にはサ
ヤンと客の住所姓
名を云つて居る、
番頭より、
長「よいしよ來たな、彼ら小僧で
番頭の藥箱よりは儲でございます、
斯う來なくては小僧の立つ瀬がござ
いません」番「アッお嬢さん小間し
くれた長松なんぞを」番頭「ボン／＼
煙管を灰吹に叩き、煙草入を
腰にさして立上らうとする機會吸ま
しの火が煙花の口火に移つたと見え
て、ボンと音ならぬ一聲、灰吹を
二つに割つて飛出したる流星、尾を
長く曳いて上へ立昇る排銃式、煙の
中より鷹鷲と尾を引いたるは正しく

(上)

E一新年お目出たう存じます、本年は辰の歳、この辰の歳と云ふのは勢ひに乘じます形でも、何ごとも思ふ存分に致されるも云ふ誠に結構な年柄でございます。長「お慶さん結構な新年でお目出たうございます」娘「あゝ長松がまことに目出たいねえ長、あの霞頭さん結構な新年で、番、あい相續ちやねえ」と云ふが相續りまして相續りまして云はば幾ぢやアないか、何故相續らちと申す云はないのだ、長「手前の方では相續つて頂かなくは面白くないぞいません、どうか相續りました」「番「まだ那麼ことを云つて居る、元日勿々から叱言は云ひたくはないが是だから困つて了ふ、ねえお嬢さん然うではございせんか」娘「さうねへ、併し長松お前相違つても云ふ方には何か變つて欲しいと思ふところがあるだらう遠慮はないから云つて御覽」。然う來なうちやア本物でない、番頭さんは頑固一徹だがお嬢さんは大正の教育をうけてお在でえのだから難い。番「此野郎厭に阿語云やアがつて生意氣な」娘「マッ嫌いぢやないか元日のことだからサア長松何でもお言ひ、思つたことを云はれば腹の脹るも業とやらだから」番「ナァニ奴奴のは思つたことを云はなくは腹が脹るのぢやアなくて、蕎麦を食過ぎて腹が突張るのでせう」長「番頭さん餘計なことば云はなくとも好いよ、お嬢さんが聞かうと仰しやる、長松が能辨を押つて」番「それが生意氣といふものだが能辨、誰へ何ぞ」と長「マア黙つてお能辨、誰へ何ぞ」、さう云つちや失敬だが番頭さんは明治時代以前の生れて天保饑に近い人の骨董、動物茶器などは知らぬ、人間の古いのと来たら藥物にも困る、大正の新藥に出

來りの體の生れた式のみになづみ、少しも新しい味を帶た氣分のないのは惜しませて、新陳代謝の理を知れぬのも茲に至つて極めりと云ふ可し、伏つて先づ本年より相違つて諸事新らし味を加へ、長松（こ）と呼喚にしたのを長松君とか杉山君とか、大いに敬稱を用ひて呼ぶ、我輩の方が鼻下に八字髭を蓄へ、枝振木箱に小倉の帯を履き、給仕服を一着に反ふと云ふにして、番頭さんを大山君と呼び、店頭の櫃は取拂つて受取り臺を拵へ、金網を張つて客との應接を手取り早くし帳場椅子の中で臨下つて居たのを受付の方に控へてドシ／＼商用を使するこれが大正式の營業振りで何時しも相違つてやつて貰はねばならぬところで」番「何だペラ／＼油ツ紙に火をついた様に喫舌りやアがつて、舊式／＼と云ふが手前の様小僧には根が分つて居ない、會社や銀行ではあるまいし商業の品によつて其趣眞似が出来るか此處の商賈は何んだと思つて居る」長「其は今更お聞きなさるだけが素痴と云ふもの、この商賣は酒屋である、番「ソレ見ろ燕冠りが受取臺の金の綱の中から出し入れが出来るか」長「そりやア出来るも其位の發明がなくは新進氣鋭の酒問屋となることは出来ない」番「どうも貴様の云ふことから癪に障る、併し如何して燕冠りを金網から出入りさせせることになる」長「それは譯のないことで、奥の薄簾と店の受取臺との間に一本の鐵管を通しておきます受取臺の前店の頭に足懸本の明格が飾りつけであります、客が来て「いろ娘！一棒ど法文すれば、忽ち店頭に掲つたい」娘の燕冠り明格の中へ例の鐵管を通ず、ギョリツと一寸捻を廻せば忽ち燕戴から色娘が鐵管を擡つて明格の中へ一所ごと公婆し

せ、いろ娘お披露せられ届けます、先づグッドスウヤン仕組にすればお客様も満足、大正の營業振を世間知らねます、何うです番頭さん大正の新しいところを一つ實際にやつては」番「青煙／＼爲様の小さい小僧だ、お嬢さんも好い加減にしろ」長「どうも暇舌の古い人は駄目だ、千里の名馬ありの如いは駄目、斯等どもも何んな名客が又と再び出るものでない、此番頭のあらん限此處の家も衰微した、番「元日から縁起の悪いことばを吐しやる、爲様のない奴だ詰なり事を考へて居るより、手前の役目の大切にしろ、此灰吹は手前の為でも大切にしろ、此灰吹は一掃蕩めて持ちやアないか、這麼一杯蕩めて置いて何する積りだ、早く掃除して來い」長「一將は得難し、此の長松なら兵卒に使ふ番頭は目がまつても官舎同様に急遽に障る奴だ早く灰吹掃除をしろ」長「ウムム長松考へて居たが急に思ひ付たのは、愚かに番頭一ツ鷺かして呉れ様と、灰吹を以つて立つた、譬て中をヌツクリ掃除して水氣のない様に火で乾かさ其灰吹の中へフット踏込んだのは唯その玉座と云ふ花火屋から買つてきた流星と云ふ煙花、これを灰吹の中に仕込んだ、長「巧い」番頭の野蠻なことを知れないから、灰吹のことを知らないから、灰吹をはなく、煙草の火が煙草の口火へ移ると、ボンと灰吹から例の花が上る、則ち吃驚してシャケリキと轟く、長「長松灰吹から例の花と轟くだらう、面白い」長「長松灰吹に入つて察知されずに獨り笑ひ込んで来た、番「其趣氣を吹を元の煙草盒へ入れた、番「お嬢さんこれは夢にも知らせず、番「お嬢さん元日は道徳好い元日は城多にいませざる、天氣と云ひ時候と云ひ娘「さうだよ、サアこれから願留までも取る



弁を見上ると龍が飛出した。香灰吹から龍が出た、助けて呉れッ」大空に人を呼ぶ、娘も大に驚き、娘何、何で大騒成成就。長番頭さ何、何で大騒成成就。長番頭さの胸は小さ過ぎるから、大きいのを入替る積りでございました。(完)

朝鮮輸入怪談集 (四)

山よりは虎が大きい。

謹賀新年
晉州慈惠病院
甲斐四郎
土橋末雄
若林勲

謹賀新年
晉州本町
米穀類商
清水清三郎商店
雜貨

朝鮮郵船株式會社
船津代理店
順賀回漕部

朝鮮郵船株式會社船津荷拔店
晉州荷拔所
晉州運送店
賀正羽田翁
電話五十四番

正

賀

●りん病ばい毒性及衰弱患者諸君是非御一
新劑の發見と 吾社の生命
藥味の改善は

内務省衛生試驗所長 醫學博士 伊藤 松次先生
帝國醫科大學院長 醫學博士 佐藤 純三先生
大阪醫科大學院長 醫學博士 永田 純三先生
赤十字社病院長 醫學博士 緒方 正清先生
同方病院長 醫學博士 緒方 正清先生
等を始め東西各醫學大家の分拆御報告及御賞讃を得たる（獨乙製船
來へモクロビンに勝る事數等なり）として世界の學者の驚嘆に値する

血液元素 オールソール を始めとし
滋養素

りん病藥ばい毒藥
婦人病藥の各種

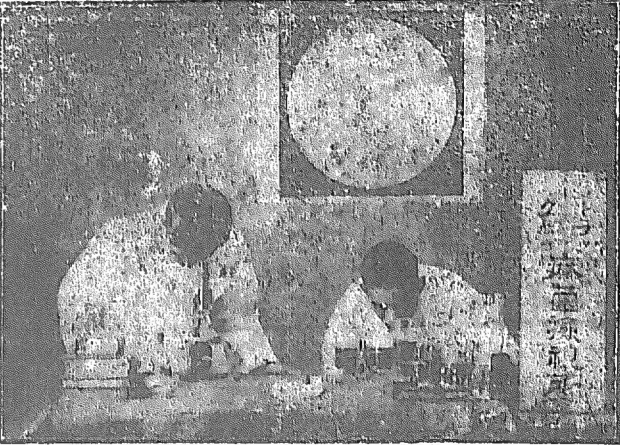
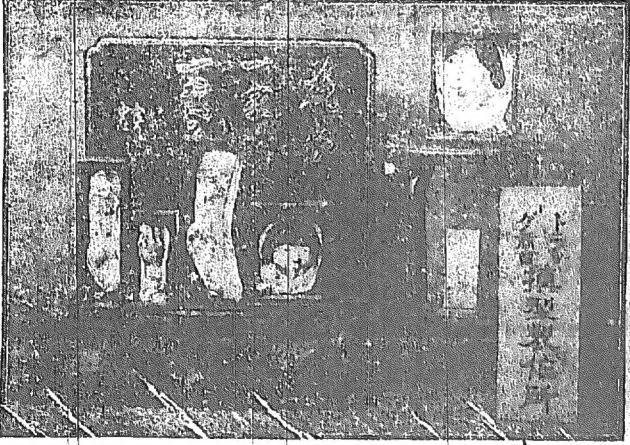
は凡て吾が商會が多年研究に研究を重ねるに諸君實見に徴し幾多貴
重の犠牲を拂ひ漸くにして成功せるもののみならず、尙日々に月に刻
一刻最新の學說を止まざる學理の進歩に鑑み、吾社試驗部に於ては常
世最新の學說を止まざる學理の進歩に鑑み、吾社試驗部に於ては常
も毎月の如く當朝總督府京道廳へ新製劑の移入出願をなす、其
度毎警務總監部衛生試驗室に於て分拆御試験を経て御許可を得つゝ、
るに見らるゝも如何に吾が社が新劑の發見と既製藥味の改善に努力
しつゝあるかを推知せらるゝに足らん

▲偽ドラッグあり注意

當商會の隆盛を羨み東京京都其城其他到る處に偽物
を賣る者あり藥品の包裝に本舖大阪合資會社ドラッ
グ商會の記名及有田鑑製の文字無き物は凡て偽物な

本舖大阪
ドラッグ商會
合資會社

りん病
ばい毒
專門
藥房



り吾商會は他店に一切卸賣をなさず直接本部若くば
支店に御申込あれ
萬一他店に於て利慾に迷ひ偽物を御渡しするが如き事あらば御手數恐
縮の至りなるも乞ふ御一報の程を

無効
返金
百圓進呈

りん病 ばい毒
藥合請 藥合請
(分間週壹) 特價參圓 普通貳圓
小包送費 拾貳錢
(分間週壹) 特價貳圓 普通壹圓
小包送費 拾貳錢

右新藥病藥は治癒劑として微毒藥は驅蝕内服藥として方今世界の醫
學上第一有効と確認せられ東京、京都、大阪、神戶、名古屋、九州、
高貴藥を主として製劑し、ありて衛生試驗所が検査封緘せる正確なる
果前記の證言に違あるを發見 金百圓を進呈す
せらるゝ時は分拆料として 金百圓を進呈す
●あらゆる治療法を講じて尚効無き患者諸君、兎に角最後の手段とし
て一度當商會へ來れ無効の時返金す
●本劑は他店に無し直接申込みあれ照會は返信券添付の事

右廣告記事に 大阪區裁判所檢事局に於て幾々質問
に明答し、事實と違無き事を立證せり、吾がドラッグ商會の廣
告には一言半句の嘘も無き偽りなき、幾多無稽の妄説を掲げて得々
たる山師的詐欺廣告の類に非らず、賢明なる讀者諸君請ふ玉石混淆する
近來各地に偽ドラッグ有り藥品の表裝に（有田鑑製）の文字無き物は偽
物に付御買取りの際御注意を乞ふ

京城南大門外停車場通

ドラッグ商會滿鮮本部

支店黄金町三。龍山漢江通小學校前。元山。釜山
電話二五六七番振替京城四六七番